

## シンポジウム『損保と共済の社会的役割』第二弾!!

### シンポジウム—世界金融危機と新たな損保再編進行—

## 『あらためて“損保と共済の社会的役割”を考える』

### 多くの仲間の参加を呼びかけます

#### 仲間みなさん

今回のアメリカ発の世界金融危機によって自民・公明連立政権と財界と大企業がすすめてきた新自由主義・市場原理主義の経済路線が破綻したことが明らかになりました。麻生内閣は解散・総選挙を逃がまわっていますが、国民の多くから国民生活に軸足を置いた経済政策実現の要求と運動が高まっています。この数年、損保産業でも大型合併・再編が進み、収入規模拡大・利益第一主義の競争が繰り広げられ、保険料取りすぎ・保険金不払い問題など深刻な問題を引き起こしました。営業店舗や正規従業員の大幅な削減政策が実行され、雇用の多様化も進められました。さらに代理店の大幅削減と代理店手数料の引き下げや外勤社員の制度と雇用に対する攻撃や本来自加入者の相互扶助組織である各種共済を保険業法の管理に入れる共済つぶし攻撃も強まりました。

このような情勢の中で私たちは昨年4月、初めて損保の募集制度と共済問題をドッキングしたシンポジウム『国民生活に軸足を置いた損保代理店・外勤社員そして共済の社会的役割を考える』を開催しました。品川正治氏特別講演、大阪損保革新懇松浦世話人基調報告の後、損保現役社員・外勤社員・専業代理店・共済・生協関係者など5人のパネラーが報告しました。福岡・浜松など遠来の参加者を含め180名を越え、成功しました。その後、シンポジウム報告集を職場に配布する活動も展開、保険毎日新聞も取り上げたこともあって業界内外に話題を呼びました。

昨年夏以降、世界金融危機・恐慌が発生し、日本の保険制度をぶち壊した元凶の一人AIGの破綻が明らかになりました。このような時期に『あいおい』『三井住友』『ニッセイ同和』三社の合併問題が起きています。私たちは新たな情勢が展開する中で再度、このテーマでシンポジウムを成功させ、国民生活に軸足を置いた損保産業と共済制度の実現をめざす討議を重ねてきました。このほど、以下の内容でシンポジウムを開催することになりました。

昨年を上回る多くの仲間の参加を呼びかけます。職場のまわり仲間・代理店・共済団体・加入者などに声をかけていただきますようお願いいたします。

記

日時 2009年5月19日(火) 午後6時半開会～8時半  
会場 大阪府商工会館7階大会議室

(地下鉄御堂筋線本町駅下車17番出口)

特別講演 青山学院大学経済学研究科教授 本間照光氏  
社会保障論、経済学、保険論、社会政策、社会保険論  
小樽商科大学商学部経済学科卒業  
共栄火災に10年間勤務

『世界金融危機と新たな再編情勢のもと、  
あらためて損保と共済の社会的役割を考える』

報告討論 損保営業社員・損保業務社員・外勤社員・代理店・共済関係者  
など

※ シンポジウム終了後、近くの居酒屋で交流会を開催

